

¹
第9回中国地方の防災に関する連絡会 資料

中国地方の防災に関する連絡会

令和2年度の取り組み予定

「連携訓練専門部会」

中国地方整備局
令和2年2月13日

■今後の訓練実施方針案

【背景】

- ◆津波浸水想定図は想定最大規模で作成されているが、実際には想定最大規模にいたらない場合も十分に考えられる
- ◆南海トラフ地震発生時には、各関係機関が連携協力して実際の被害状況を早期に把握し、安全を確保しつつ被害状況に応じた迅速な災害対応を行う必要がある

【次年度の連携訓練の実施方針(案)】

①前提条件

- ・**対象災害**:南海トラフ巨大地震。**地震発生後～津波警報解除(発災後9時間)**
- ・**被害想定**:浸水域、浸水深は各県被害想定。震度は内閣府想定
- ・**各機関の対応**:上記被害想定に基づき**自機関に被害**が生じること、**参集可能な人数**を整理した上での対応、**甚大被災地への応援の実施**(計画のある機関)を前提

②訓練内容(案)

- ◆各機関の対応拠点の確保、津波警報解除までの被害情報整理・共有【第1部】
- ◆発災～津波警報解除までの関係機関連携対応の図上訓練【第2部】

【第1部】

- ・各機関による自機関の管理施設被害や拠点施設被害の収集、整理。各機関の拠点施設の設定
- ・道路施設被害については通れるマップを作成しポータルサイトで共有

【第2部】

- ・上記で作成した通れるマップや施設被害を前提として、発災後9時間までに必要とされる連携対応※を図上訓練で実施

※例えば、要救助者の輸送方法の検討

③訓練計画作成の留意点

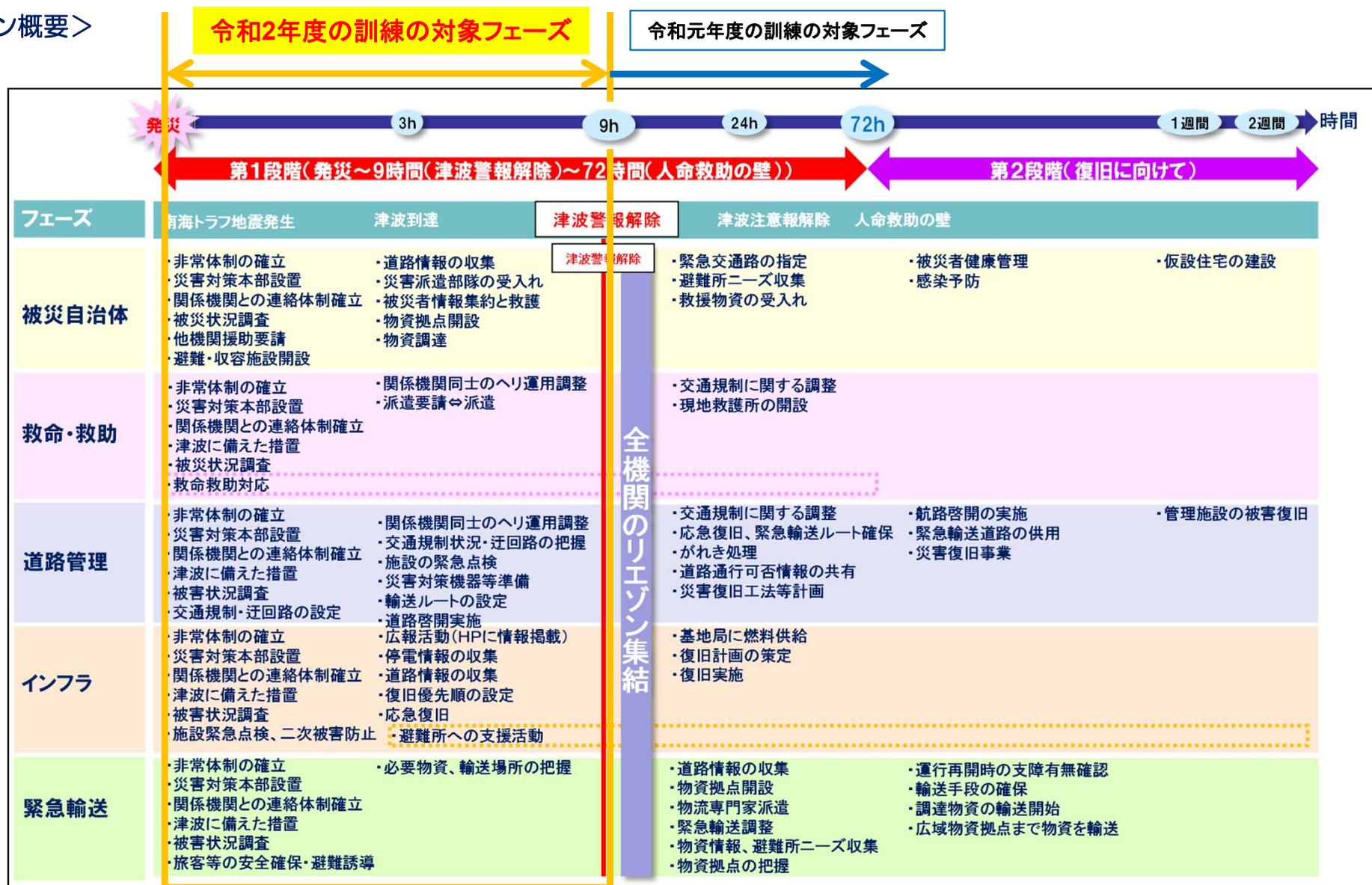
- ・令和元年度の連携訓練結果アンケートの意見を訓練計画の作成に活用

連携訓練専門部会の令和2年度の取り組み予定

【令和2年度の訓練の対象フェーズ】

- ・津波等による初動体制確保の困難性等に着目
- ・対象フェーズは、発災から津波警報解除（発災後9時間後）までを想定

<タイムライン概要>



第9回中国地方の防災に関する連絡会 資料

中国地方の防災に関する連絡会

令和2年度の取り組み予定

「南海トラフ巨大地震対策計画専門部会」

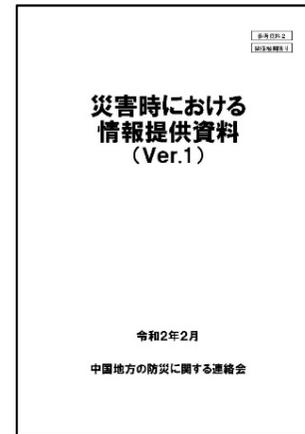
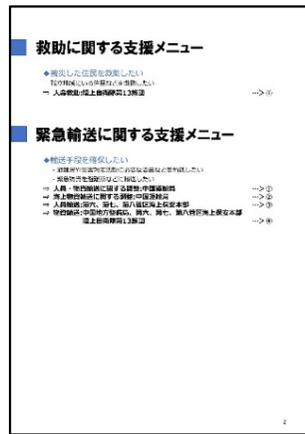
中国地方整備局
令和2年2月13日

【取り組み内容】

①平成30年7月豪雨課題検討専門部会からの引き継ぎ

令和元年度に平成30年7月豪雨課題検討専門部会でとりまとめた以下の成果について、南海トラフ巨大地震対策計画専門部会に引き継ぎ、取り組みを継続する。

- ・テーマ1：大規模災害時における関係機関の支援メニュー(Ver.1)⇒**適宜更新**
- ・テーマ2：災害時における情報提供資料(Ver.1)⇒**適宜更新**
- ・テーマ3：ライフライン復旧に向けた関係機関の連携⇒**令和2年度に関係する機関により取り組み状況を報告。**



大規模災害時における関係機関の支援メニュー(Ver.1)

災害時における情報提供資料(Ver.1)

②地震発生直後における各機関の行動・対応を整理

地震発生から津波警報発表解除の間で、各機関が取り組む防災対応のとりまとめを行う。
⇒地震発生直後における、各機関の行動・対応を整理し各機関で共有する。
※ 連携訓練の基礎資料にも活用

中国地方の防災に関する連絡会の令和2年度の取り組み予定

緊急輸送専門部会

令和2年2月13日

中国運輸局

■頻発・激甚化する自然災害に備えた緊急輸送のあり方について

◆災害時における旅客輸送・帰宅困難者対策のあり方

- ・災害時の情報提供等を含む旅客輸送対策の推進
- ・平成30年7月豪雨における旅客輸送の課題への取り組みの継続
- ・地方公共団体・交通運輸事業者・地方行政機関の緊密な連携関係の推進 等

◆災害時における緊急物資輸送のあり方

- ・平成30年7月豪雨の検証による物資支援取組方針に基づく取り組みの推進 等

全国で頻発し、甚大な被害が発生している自然災害



北海道地震(平成30年)



6月下旬からの大雨(令和元年)



8月下旬前線による大雨(令和元年)



台風19号(令和元年)